

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東
 コード番号 8139 URL http://www.nagahori.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田端 馨 TEL 03-3832-8266
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,432	1.0	△136	—	△160	—	△45	—
29年3月期第2四半期	10,330	△3.8	△117	—	△132	—	△196	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △37百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △201百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△2.96	—
29年3月期第2四半期	△12.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	25,696	12,899	50.2	841.14
29年3月期	25,365	13,044	51.4	850.56

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,899百万円 29年3月期 13,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	7.00	7.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△7.1	180	24.0	120	27.2	100	—	6.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	16,773,376株	29年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,437,733株	29年3月期	1,437,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	15,335,643株	29年3月期2Q	15,335,643株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や企業業績の改善もあり、景気は緩やかに回復し、雇用環境の改善も続いております。しかし、米国トランプ政権の政策運営の不安定化や北朝鮮問題等の不安定要素、また賃金上昇の不均等格差等もあり、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても個人消費は、百貨店等での高額品消費、インバウンド消費による持ち直しも見られますが、景気の不透明感のなか全体的には、消費の二極化は続き依然ボリュームゾーンを中心とする中間層において宝飾品等に対する個人消費の節約志向の流れは変わらず、業界を取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

この様な状況下、当社グループは取扱規模、収益の拡大が見込める百貨店向けの卸売事業での富裕層向けの商品供給を強化し、積極的な営業活動を行いました。卸売事業につきましては、組織改革および地方拠点の機能を強化することにより、「量より質の追求」による営業効率の向上を推進し、直営の小売事業では、「選択と集中」をキーワードに不採算店舗の閉鎖を当初の予定通り実施いたしました。この結果、当第2四半期(累計)においては、卸売事業、直営小売事業では業績改善の兆しが見られ、またグループ子会社の金地金製品の販売も前年に引き続き好調に推移いたしました。しかしながら、第1四半期での極端な業績の落ち込みをカバーすることはできず厳しい結果となってしまいました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は104億32百万円(前年同期比1.0%増)、営業損失1億36百万円(前年同期 営業損失1億17百万円)、経常損失1億60百万円(前年同期 経常損失1億32百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失1億96百万円)となりました。

当第2四半期累計期間の結果を踏まえ第3四半期以降は、富裕層マーケット向けには付加価値の高いダイヤモンド製品や海外高級ブランドの提案強化、また、中間層マーケットに向けては、年間を通しての最大の需要期であるクリスマス商戦に関連付けたブランド商品やアニバーサリー商品の新型投入を積極的に行い、消費喚起を推進いたします。また、近年クローズアップされているコト消費関連企画としては、例年開催している自社主催の消費者向けホテル催事を更に差別化して開催し、業績の底上げを図ってまいります。

セグメント業績は以下のとおりであります。

宝飾事業の売上高は103億70百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント損失は1億62百万円(前年同期セグメント損失1億37百万円)、貸ビル事業の売上高(外部顧客)は33百万円(前年同期比20.0%増)、セグメント利益は10百万円(前年同期比20.7%減)、太陽光発電事業の売上高は28百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は15百万円(同3.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は256億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円の増加となりました。

流動資産は177億59百万円となり、6億33百万円増加となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の減少29百万円による一方、受取手形及び売掛金の増加1億55百万円、現金及び預金の増加4億22百万円等によります。

固定資産は79億37百万円となり、3億2百万円減少となりました。これは主に有形固定資産の減少2億円等によります。

(負債)

負債は127億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億75百万円の増加となりました。

流動負債は107億72百万円となり、5億13百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加3億71百万円等によります。

固定負債は20億24百万円となり、38百万円減少となりました。これは主に長期借入金の減少57百万円等によります。

(純資産)

純資産は128億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少となりました。これは主に利益剰余金の減少1億52百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想(平成29年5月19日)について、引き続き、経営資源の集中策を進めていく事で、現時点での修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,161,347	1,583,971
受取手形及び売掛金	2,475,934	2,631,828
商品及び製品	12,162,932	12,155,408
仕掛品	245,561	303,899
原材料及び貯蔵品	919,662	890,640
繰延税金資産	48,011	49,999
その他	128,316	158,074
貸倒引当金	△15,456	△14,318
流動資産合計	17,126,309	17,759,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,982,726	1,938,696
機械装置及び運搬具(純額)	267,989	260,407
土地	3,461,417	3,292,869
建設仮勘定	15,789	—
その他(純額)	432,661	467,725
有形固定資産合計	6,160,584	5,959,698
無形固定資産	144,708	138,831
投資その他の資産		
投資有価証券	869,180	818,726
長期貸付金	34,765	34,100
繰延税金資産	339	365
その他	1,159,250	1,113,503
貸倒引当金	△129,644	△128,089
投資その他の資産合計	1,933,892	1,838,606
固定資産合計	8,239,185	7,937,137
資産合計	25,365,495	25,696,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,150	1,598,041
短期借入金	8,013,000	8,384,000
1年内返済予定の長期借入金	177,068	137,252
未払法人税等	137,664	100,854
賞与引当金	109,955	111,518
役員賞与引当金	2,800	1,400
その他	485,153	439,438
流動負債合計	10,258,791	10,772,505
固定負債		
長期借入金	940,400	882,648
退職給付に係る負債	561,322	583,240
役員退職慰労引当金	149,135	155,448
繰延税金負債	45,159	48,766
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	317,814	305,705
固定負債合計	2,062,672	2,024,651
負債合計	12,321,464	12,797,156
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	2,669,468	2,516,680
自己株式	△481,405	△481,405
株主資本合計	13,787,201	13,634,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,153	103,328
土地再評価差額金	△853,614	△853,614
為替換算調整勘定	15,289	15,357
その他の包括利益累計額合計	△743,170	△734,928
純資産合計	13,044,030	12,899,485
負債純資産合計	25,365,495	25,696,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,330,835	10,432,667
売上原価	7,274,227	7,496,137
売上総利益	3,056,607	2,936,529
販売費及び一般管理費	3,174,281	3,073,396
営業損失(△)	△117,673	△136,866
営業外収益		
受取利息	289	54
受取配当金	13,007	13,661
為替差益	4,585	3,674
その他	20,312	12,705
営業外収益合計	38,194	30,096
営業外費用		
支払利息	43,916	43,226
手形売却損	4,603	3,792
その他	4,725	6,907
営業外費用合計	53,245	53,926
経常損失(△)	△132,724	△160,697
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,320
固定資産処分益	4,629	173,357
特別利益合計	4,629	177,677
特別損失		
固定資産処分損	1,698	1,272
特別退職金	4,450	—
その他	245	—
特別損失合計	6,395	1,272
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△134,490	15,708
法人税、住民税及び事業税	59,542	63,159
法人税等調整額	2,119	△2,013
法人税等合計	61,661	61,146
四半期純損失(△)	△196,151	△45,438
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△196,151	△45,438

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△196,151	△45,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,085	8,174
為替換算調整勘定	△4,629	67
その他の包括利益合計	△5,714	8,242
四半期包括利益	△201,866	△37,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201,866	△37,195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	健康産業 事業	太陽光発電 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,229,482	28,300	45,032	28,018	10,330,835	—	10,330,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,220	—	—	2,220	△2,220	—
計	10,229,482	30,521	45,032	28,018	10,333,055	△2,220	10,330,835
セグメント利益又は 損失(△)	△137,438	12,778	△9,341	16,327	△117,673	—	△117,673

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 健康産業事業につきましては、「選択と集中」の事業方針に従った見直しを行い、第1四半期連結会計期間の平成28年6月をもって直営形態の当該事業を終了廃止しております。

なお、当該施設については当第2四半期連結会計期間の平成28年7月より、施設賃貸により貸ビル事業へ転換しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,370,141	33,952	28,573	10,432,667	—	10,432,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,480	—	3,480	△3,480	—
計	10,370,141	37,433	28,573	10,436,148	△3,480	10,432,667
セグメント利益又は 損失(△)	△162,824	10,134	15,823	△136,866	—	△136,866

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。